

**2020 年度
学校関係者評価報告書**

松本歯科大学衛生学院

松本歯科大学衛生学院
2020年度 学校関係者評価報告書

松本歯科大学衛生学院学校関係者評価委員会は、2019年度の自己点検・評価結果を基に、学校関係者評価を実施しました。その結果を以下のとおり報告いたします。

2020年6月
松本歯科大学衛生学院
学校関係者評価委員会

1. 目的

松本歯科大学衛生学院は、教育活動その他学校運営の状況を把握し、自己評価結果及び改善方策等を考察するため、学校関係者評価を実施する。

2. 評価対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

3. 評価の方法

松本歯科大学衛生学院の2019年度自己評価結果について、次の観点で評価を行った。

- ① 評価内容は適切か
- ② 学校の実際の取り組みは適切か
- ③ 評価結果を踏まえた課題や改善方策は適切か
- ④ その他、学校の運営に関する助言

4. 学校関係者評価委員会

○学外委員（評価委員）

- ・山本昭夫 関連業界関係者
- ・中島靖子 卒業生

○学内委員（事務局）

- ・笠原悦男 学院長
- ・島田陽子 教務主任
- ・原 聖司 衛生学院事務室
- ・上條由美 衛生学院事務室

5. 基準項目ごとの学校関係者の評価・意見

評価項目	学校関係者評価委員の評価、意見
1. 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念そして目標が明確に定められており、とくに問題はない。 ・アドミッションポリシーそしてディプロマポリシーとして育成人材像も定められており、専門分野の特性が明確になっている。 ・これらはホームページに公開されており、学生、保護者へ周知されており、取り組みは適切である。 ・教育課程編成委員会が設置され、教育課程の編成に関する意見交換がなされており、課題への取り組みや改善方策をたてるなど適切に行われている。
2. 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を達成するための運営方針そして事業計画がしっかり策定されている。 ・学院長、専任教員そして事務職員で構成される職員会と非常勤講師が加わる教員会とによって組織が明確化されて有効に機能している。 ・人事、給与に関する規程や、教務・財務等に関する意思決定システムはしっかり整備されている。 ・コンプライアンス体制はしっかり整備されており問題はない。 ・教育活動に関する情報の公開も随時ホームページあるいはイントラに掲載されて内外へ周知されており問題はない。 ・情報システム化によって業務の効率化が適切に図られている。
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会そして職員会において教育課程の編成・実施方針などの策定が適切に行われている。 ・シラバスには授業ごとの学習到達目標が明確化されており、時間配分についてもとくに問題はない。 ・カリキュラムも的確に編成されているので問題はない。 ・「医療コミュニケーション」、「キャリアデザイン」という科目を設定して教育方法の工夫や開発が行われている。 ・関連企業や施設との連携がしっかり取られカリキュラムの編成そして見直し等について意見や助言をいただきながら実施している。 ・産学連携が行われてきている。 ・学生に対して授業評価を実施して、それを基に授業担者にフィードバックを行っており授業の評価体制は整っている。 ・教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会が設置されており、外部からの評価および意見を得ている。 ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化されており問題はない。 ・資格取得等に関する指導体制はしっかり整備されている。 ・人材育成目標の達成に向けての教員また関連分野との連携にマネジメントできる教員は十分確保されており問題はない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導能力と資質の向上を図るため、「松本歯科大学衛生学院教員研修規定」を定めるとともに、研修会へも参加させて資質向上に努めていることが評価できる。
<p>4. 学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率は100%が続いており、特に問題はない。 ・国家試験特別補習などを組み入れて資格取得のための体系作りが整っていることが評価できる。 ・2019年度1年4人、2年1人の形3人の退学者が出ている。成績不良や長期欠席が退学に繋がるが多いため、欠席理由を把握するなど個別指導を行って対応している点は評価できる。 ・在校生についての社会的活躍などは評価できているものの、卒業生についての把握ができていない。校友会（同窓会）を通じて把握できるように努力していただきたい。それによって卒業後のキャリア形成への効果を把握することもできるようになってくるものと思われる。 ・歯科業界や職種の理解し興味を深めることができるため、卒業生と在校生との交流をもっと高めることが望まれる。
<p>5. 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路、就職に対する支援は事務が中心に行い、進路調査、就職活動説明会、求人票の公開そして就職支援といったことを行っておりしっかり整備されている。 ・学生相談は担任あるいは教務主任が面談して学習そして生活状況を把握するとともに、必要に応じて三者面談を行うなど体制は十分整っている。 ・衛生学院独自の支援は行ってはいないが、日本学生支援機構の奨学金、自治体・民間等の奨学金、民間の教育ローンを活用することで経済的支援体制を整えている。 ・松本歯科大学に保健室が設置され保健師そしてカウンセラーが配置されていてそこを共用できる体制が整っている。 ・松本歯科大学の課外活動に参加できる環境が整っている。 ・図書館、学食、学生寮等の施設は松本歯科大学に併設されているので、それらの施設を利用できるように環境整備されており、生活環境の支援はできている。 ・必要に応じて三者面談が実施できる体制が整っている。 ・卒業生への支援体制は現時点では行ってはいないが、要請に応じられる体制は整備できている。 ・働きながら学校に在籍できる環境とはなっていないが、今後検討すべき事項である。 ・高等学校からの依頼を受けて歯科衛生士の職業紹介と学校紹介を実施しており、連携を組んでいることが評価できる。

6. 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、実習室といった施設は適切に整備されている。 ・換気設備の設置など、授業を受ける快適な環境整備が望まれる。 ・老朽化した教材、視聴覚機器等の整備が望まれる。 ・面談が実施できる部屋を確保することが望まれる。 ・学校法人として自衛消防隊は組織されているが、学校独自の緊急時のマニュアルがないので早急な整備が望まれる。
7. 学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度には中南信地区18の高等学校を訪問して学生募集を行っている。 ・高校訪問、一日体験入学の実施そして進路ガイダンスへの参加というかたちで学生募集を行っている。 ・学生募集活動では、歯科衛生士の業務内容、資格取得までの流れ、国家試験の結果、就職状況等正確な情報を詳細に伝えており問題はない。 ・学納金は妥当な金額である。
8. 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・財務に関しては学校法人の経理部門が担当し、情報はホームページ上に公開されている。
9. 法令遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する法令を遵守し適正な管理運営が行われており問題はない。 ・個人情報に関しては入学時に説明して理解を得て、しっかり保護されているので問題はない。 ・自己点検・評価は毎年行われており現況の把握と問題点の改善に努めている。 ・自己点検・評価はホームページ上に公開されている。
10. 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・大学祭でのブラッシング指導、塩尻地区市歯科医師会・塩尻市共催の「良い歯を守る相談会」での歯科健診、ブラッシング指導、フッ化物の塗布の介助などに積極的に取り組んでいることが評価できる。 ・長期休暇中のボランティア活動を奨励するとともに具体的な指導にあたっている。 ・出張講義への講師派遣や「歯科衛生士復職支援セミナー」の受け入れ体制の整備を行っており、社会貢献そして地域貢献は評価できる。

【全体を通しての意見】

- ・国家試験の合格率は開校以来100%と非常に優れており、今後もこの数字を維持できるよう適切な指導を行っていくことが望まれる。

以上